

やまびこ

やまびこネットワーク情報誌 VOL. 5 6

発行日 平成 21 年 3 月 9 日

編集 地域づくりネットワーク長野県協議会

事務局(長野県総務部市町村課地域振興係内)

電話 026-232-0111(内線 2127)

FAX 026-232-2557

E-Mail s-shinko@pref.nagano.jp

URL <http://zuku.unic.hp/ynet/>

やまびこフォーラム in 上田 ～出あい・ふれあい・認めあい やらざあ! 信州!!～

地域づくりネットワーク長野県協議会 上小支部

県下の地域づくりに取り組む団体の活動発表・交流の場である「やまびこフォーラム in 上田」を1月31日(土)、上田市丸子文化会館で開催いたしました。

開会に先立ち、ネットワークメンバーの「青木村義民太鼓保存会」の皆さんによる勇壮な太鼓の演奏が披露され、フォーラムのオープニングを盛り上げていただきました。

今年のフォーラムは、参加いただく皆さんのお互いの交流に重点を置き、全員が対等に発言し、参加することを主眼に、ゲーム形式の交流会やワークショップによる検討会等を行いました。

詳細は報告書にまとめ、会員の皆さんへ別途お送りいたします。

ここでは、当日の概要をご報告いたします。



□ あいさつ 北村 登夫会長(長野支部 小布施景観研究会)

昨今非常に経済が困窮している中、本日お集まりいただいた皆さんは、それぞれの地域で苦勞に苦勞を重ねながら日々活動していることと思います。私達の団体は、「ずく出せ・あせ出せ・知恵を出せ」をモットーにそれを一貫して進めて参りました。これからもずくを出し、汗をかき、そしてお互いの知恵を出し合っていくことが、地域づくりを素晴らしものに導いていくと確信しております。今後も皆様方には、引き続き地元で精力的な地域づくり活動を行っていただくようお願いいたします。



□ 第1部「ブロック大会事業報告会」

県内4ブロックの代表者による、各ブロック大会の事業報告がありました。

○『北信ブロック』(長野支部 シャワーの会 芋川 恵子さん)

11月8日、「第3回 北信濃地域づくりサミット in 蔵の町・須坂」をメインテーマに、また「地域資源を活かした“共創”のまちづくり」をサブテーマに、旧上高井郡役所において北信ブロック事業を開催しました。午前中は須坂市内の散策、午後は小諸市出身でまちづくりプランナーの荻原礼子さんによる小諸市に関するまちづくりの講演会、また、5人のパネラーによるパネルディスカッションが行われました。



○『東信ブロック』(上小支部 学生地域くらし創り考房こみっと 竹内 充さん)

11月22日、「楽しもう地域活動交流会」を上田市真田公民館にて開催しました。日々活動している中で抱いている夢を語り合い、「自分もこんな協力ができる」という意見などを交わしながら、その夢をどうすれば実現できるかを皆で考え、交流を深めました。

また、参加団体の活動紹介をパネル等使って行いました。



○『中信ブロック』(松本支部 NPO 法人 情報ネットワーク・自然所 砂原 清志さん)

11月29日、松本市内の「松本ホテル花月」で中信ブロック事業を開催し、ここでは、平成19年度に県の「地域発元気づくり支援金」を活用した4団体の事例発表や、まつもと城下町湧水群水巡りウォーキング等を行いました。水巡りウォーキングでは、参加者が2班に分かれ市民記者としてウォーキングコースづくりに携わった皆さんのガイドにより、およそ1時間半かけて市内散策を行いました。



○『南信ブロック』(下伊那支部 ひさかた風土舎 長谷部 三弘さん)

12月10日、飯田市旧南信濃村「旧木沢小学校校舎」にて南信ブロック事業を開催しました。第1部は、現地視察とし、旧南信濃の和田宿と、下栗の里の2ルートを訪問しました。第2部は、「飯田アートハウス」の櫻井京子さんを講師に招き、講演会とトーク会を行いました。第3部は、地域発元気づくり支援金を活用して事業を実施した、「カラマツストーブ普及有限責任事業組合」、「伊那地域アマランサス研究会」、「大鹿村観光協会」を囲んでの座談会を行い、各団体から地域づくりの実践事例についての話をお聞きしました。



□ 第2部「お互いの活動についてきてみよう」

(自己紹介ゲーム)

参加者が2重の円を構成し、各自が事前に作成した「自己紹介ボード」(日常の活動状況や長野県の未来構想等を記載)を向かい合った者同士で交換し、それをもとに質問や自己紹介を行いました。

限られた時間(1回の制限時間が2分30秒)で次々と相手が変わる中、参加者の皆さんは交流を深めようと一生懸命自己PR等を行っていました。



□ 第3部「地域づくりをネットワークでやってみよう！」

(ワークショップ)

参加者が4つのグループに分かれ、自己紹介ゲームのボードに記載した長野県の未来予想をもとに、グループ内でどんな夢を実現するか決定し、その夢の実現に向けて議論を行いました。

それぞれの参加者のこれまでの団体活動の経験等を生かし、お互いに補完し合いながら、そのネットワークを活用することで、夢の実現に向けてどう活動するか模擬体験を行いました。



それぞれのグループが、下記の夢実現に向けて「やれる事」や「しなければいけない事」等を検討し、参加者全員が発言し多様な意見が出される中、コーディネーター役となった方を中心に、それを集約し、結果を模造紙にまとめ発表しました。

1グループ 『人と地球に優しい長野県づくり』

2グループ 『日本一の癒しの里づくり』

3グループ 『多様な意見を認め合い、いろいろな人が参加できる地域づくり』

4グループ 『ブランドカー位を目指す』

今回のワークショップは、参加者全員が必ず意見を述べ、それをコーディネーターが調整しながらまとめ、結論へと導く、より実践的な手法により行われました。今回のワークショップの話し合いを通じて、何か今後の地域づくり活動に活かせるヒントを掴んでいただけたでしょうか……

参加者の皆さんいかがでしたか？

地域づくりネットワーク長野県協議会(やまびこネットワーク)に新しい仲間が加わりました

北原区ふるさと暮らし支援委員会(北信支部) 設立 H19年4月 会員数 9人
【主な活動内容】I・J・Uターンを含めふるさと暮らしの支援 等

信州自然再生協議会(諏訪支部) 設立 H16年5月 会員数 10人
【主な活動内容】アレチウリの除伐とアメリカシロヒトリ対策 等

クマ笹利用推進会議(諏訪支部) 設立 H17年5月 会員数 10人
【主な活動内容】クマ笹の有効利用 等

「地域づくり交流会 in 南信州・遠山郷」を開催しました

地域づくりネットワーク南信ブロック(諏訪・上伊那・下伊那支部)の会員相互の交流を深め、新たな活動へのきっかけをつかむ場として、南信ブロック交流会「地域づくり交流会 in 南信州・遠山郷」を平成 20 年 12 月 10 日(水)に飯田市南信濃の旧木沢小学校を会場として開催しました。

当日は 38 名の参加があり、遠山郷の現地散策や講演会、座談会などを通して交流を深めました。

1 現地散策

現地散策は、旧南信濃村の「和田」コースと、旧上村の「下栗の里」コースの2組に分かれて行いました。平成 20 年6月に平成の名水百選に選定された「遠山の観音霊水」や日本のチロルと称され南アルプスを望む急斜面に民家が点在する独特な風景を有する「下栗の里」などを視察し、条件不利地域でありながらも情熱あふれる地域づくりを実践している事例について学んでいただきました。



【観音霊水】



【下栗の里】

2 講演会

講演会には、アートハウス店主櫻井京子氏をお招きし、「アートハウスから見える風景」と題してお話をいただきました。

自身の役割を「地域の資源を次代に受け継いでいくこと」とおっしゃる櫻井さんは、「悲しいでも、うれしいでもなく、ただ涙がでてくる。そういった心の動きを大切にしながら人や作品と接していきたい。」とのことでした。

秘めた思いに地域づくりの原点を再認識させていただきました。



3 地域発 元気づくり支援金活用団体を囲んでの座談会

支部	参加団体	実施事業
諏訪	カラマツストーブ普及有限責任事業組合	薪作りステーションの運営及び設備整備
上伊那	伊那地域アマランサス研究会	雑穀アマランサスによる地域活性化推進事業
下伊那	大鹿村観光協会	大鹿ジビエ料理推進事業

各支部から、平成 19 年度に地域発元気づくり支援金を活用された団体に参加いただき、特に事業の立ち上げに至るきっかけについてお話をいただきました。

もともと環境や資源に恵まれていたわけではなく、地域が抱える課題と真摯に向き合いながら、着実に効果を上げていく活動事例の発表は、日頃から地域づくりに取り組む会員にとっても、新たな活動に向けて大いに参考になるものでした。

「やまがた風土考房」を紹介します

「やまがた風土考房」って何？

「子どもが外で遊んでいる風景が見たい」という素朴な思いから、子どもに関わる地域の様々な団体・グループの代表や個人に呼びかけて、昨年の5月に「やまがた風土考房」が立ちあがりました。村に生まれ育った“土のひと”と外から新しい考えを吹き込む“風のひと”が知恵を出し合い、子どもが思いっきり外で遊べる地域づくりを目指しています。

私たちは、下記のような身近で小さな活動から、将来は「村中みんなで子育て」に向けた活動に拡がるように、“人とひと”、団体やグループをつなげる「コーディネーター」役をつとめていきます。

子どもの居場所」づくりの拡がりにつながる活動

◆たてべ子どもひろば(主催ー山形村社会福祉協議会 共催ーやまがた風土考房 後援ー松本大学など)

・夏休み(昨年8月の5日間)

建部神社の境内と隣接の宅幼老所「建部の里」が子ども居場所となっています。久し振りに、神社の境内に子ども達のにぎやかな声があふれました。



・冬休み(1月の1日)

冬の1日、子どもたちは松本大学生のお兄さんやお姉さん、そして地域のボランティアの人たちと一緒に、餅つきやたこ揚げ、また冬休みの宿題の習字も行いました。

◆いこい子どもひろば(主催ー松本大学生有志 共催ーやまがた風土考房 後援ー育成会など)

・「なろう原公園ツリーハウス」での子どもの遊び場(3月の半日)

松本大学生有志の企画・主催による半日のイベントー外で缶ぽっくり、竹馬、しっぽオニ。竹馬をうまく乗りこなす1年生にびっくり！ツリーハウスの小屋に入ったの「さいころゲームでは大学生のお兄ちゃんにおんぶされて駐車場まで。子どもは大喜び、大学生は「ゼイゼイ」。



学生も子どもたちも、ボランティアの大人もみんな楽しんだ冬の半日でした。

[やまがた風土考房が各種団体(地区、社協、育成会、大学、PTA、ボランティアグループなど)に呼びかけ、主催・共催・後援をお願いしました。いろいろな団体が連携したことに大きな意義があります。]

中村代表が「地域づくりコーディネーター研修会(地域づくり団体全国協議会主催)」を受講しました

・分科会:「組織連携による地域づくり～新しい価値を生む地域づくりのスクラム～」

コーディネーターは延藤安弘氏(愛知産業大学院教授)

・パネルトーク「人材育成と組織連携」

2日間の研修会の最後に交流会があり、全国各地の先進的な地域づくり活動をしている人々との交流を通して、大きな刺激を受け、「地元に戻って頑張ろう」と思った次第です。

◆ やまがた風土考房 問い合わせ先 TEL 090-3440-3990 代表者 中村 健 ◆

【事務局より】

平成20年度当初、やまびこネットワーク会員数は93でしたが、各支部の積極的な勧誘や活動によって新たな仲間を迎え、その数を110(平成21年3月9日現在)にまで伸ばすことができました。

今後もやまびこネットワークの活動の輪が、県内全域に広がっていくよう会員の皆様のご支援・ご協力をお願いします。

「自分たちのため」「地域のため」やまびこネットワークと一緒に活動しましょう！